

令和3年度 学校関係者評価及び改善策

(中間) ・ 最終)

学校関係者評価委員 氏名

評価項目	※評価	理由・意見
目標、指標の設定の適切さ	A4 B1	<ul style="list-style-type: none"> ○「児童と向き合う時間が確保できている」と感じられる先生方が75%ということに光明を感じています。下校時間を早くしていることで、少し気持ちに余裕が持てるようになったのかもしれませんが。 ○的確で具体的な設定だと感じます。 ○働き方改革の指標について、有給休暇の取得等も検討されてはどうか。 ○確かな学力や質の高い振り返りの達成度がかなり低いので、目標値を現実可能な数値に見直す必要があると思います。
目標達成のための方策の適切さ	A3 B2	<ul style="list-style-type: none"> ○どの項目も精選され、評価しやすい方策になっているように思う。 ○「振り返りに値するような授業になっているか？」と、教師自身が振り返ることも大切ではないかと思えます。日々の授業において、子どもたちに発見や感動があるように、今後も励んでいただきたいです。 ○子ども達と向き合い、質を上げる振り返り学習を目標とすること、先生方の勤務時間削減という両立を達成することの方策とご努力にA判定です。 ○体力づくりの日常化には、家庭の協力、保護者の理解が重要だと思います。体力づくりの方法を、家庭に対してもしっかり情報提供することが重要だと思います。
自己評価の結果と分析の適切さ	A4 B1	<ul style="list-style-type: none"> ○「郷原っ子7つのスタンダード」各項目の担当者を決めたことがよかったと報告がありました。まさしく！ナイス！と共感しました。 ○コロナ禍で困難な環境の中、先生方の取組は120%かと存じますので、A判定としたいところ、「学力D評価」となっている為、B判定と致しますが、今後着実に前進される目標かと存じます。目標値をもう少し低い値から挑戦されてもいいのではと思います。 ○NOメディアの達成度は、レベル毎に結果を提示頂けるとよいと思いました。達成できる児童は、おそらくレベルを上げて達成できると思いますが、達成できない子はレベルを低くしても達成が難しく、むしろレベル4～5の方が達成度は高いのではと推測します。
今後の改善策(案)の適切さ	A4 B1	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍の中では、思うようにいかないことが多いと思いますが、短期集中で取り組むこと、じっくり続けて頑張ること、メリハリをつけて取組を進めていただければと思います。 ○コロナの影響が長期化し、家庭においても保護者のストレス、子ども達のストレス、それを受けるのが学校生活の中での先生方かと存じます。「働き方改革」の中でも、先生方の心身の健康が第一であり、その上に子ども達への質の高い学習振り返りがあるものと存じますので、この点の改善策を見守っております。 ○個別に見ると、適切な改善案だと思います。 ○働き方改革で勤務時間も短縮しながら、教育の質の向上やICTの活用等、これまでになかった事に取り組んでいくのは大変かと思えます。教員の皆様も、自身の健康が充分維持できるようご自愛ください。
その他		<ul style="list-style-type: none"> ○本年度も「新型コロナ対策」を考慮しながらの目標、指標に対し、目標達成の方策をたてそれに対する評価・結果・分析、さらに今後の改善策等々の取組に対して、先生方の多大なご努力、ご苦労があったことと思います。教職員の時間外勤務と仕事量の増大で大変なこととは思いますが、「郷原っ子」のために引き続きよろしくお祈りします。 ○2学期から、郷原大橋交差点であいさつしてくれる児童が非常に少なくなったように思う。(夏休みや新型コロナで人との接触不足の影響か?) ○郷原大橋の横断歩道で、横断後停車してくれた車に対して丁寧に低頭挨拶をする低学年の女の子がいる。(機会があれば全児童に紹介してほしい。) ○年上の人に対するの暴言が気になる。 ○保護者の車による児童生徒の搬送が多すぎるように思う。 ○年々指標の精選がなされてきているので、評価項目の内容や方策はわかりやすくなっている。郷原っ子の7つのスタンダードの取組はとてもよい。 ○久しぶりの授業参観で、ほとんどの児童が意欲的に学習をしていたので安心した。配慮を要する児童への取組が具体的に見えなかったが、先生方が毎日ご苦労されていると授業を見ながら推察された。コロナが早く収束しますように。 ○先生に元気がないと何事も進んでいかないですね。どうぞご健康に留意され、笑顔で子どもへの対応ができますよう、よろしくお祈りいたします。 ○「郷原っ子7つのスタンダード」当たり前ではありますが、子ども達への繰り返しの声かけが習慣となり、必ず身に付く事であり、一度身に付けば必ず愛される人になれる・・・当たりの基本だけれども、大きな財産になる事！！その責任担当を新しく取り組まれた事は、必ず大きな結果となりそうなワクワクで期待しております。

※ 評価は、A(とても適切)、B(概ね適切)、C(あまり適切でない)、D(まったく適切でない)、N(分からない)

学校関係者評価を受けての今後の改善策	<ul style="list-style-type: none"> ○コロナ禍による不安、ストレスを抱えながら登校してくる児童もいるが、状況を見ながら学習活動の再開や見直しを行い、児童の自己肯定感を高める取組を増やしていく。 ○校内授業研究等で振り返りの質が高まる声かけ、支援を見直したり、「ごうはらっ子考えるヒントカード」を積極的に活用したりして、資質・能力の育成につながる振り返りができるような取組を進める。 ○当たりのことが当たり前でできる「郷原っ子7つのスタンダード」について、2学期以降、各項目にそれぞれ教員の担当を割り当て、より効果的な取組を全校あげて進めていく。
--------------------	--